

ファイナンシャル・アドバイザー協会 第4回研修委員会議事録

1. 開催日時 2022年11月8日(火) 午前10時より午前10時50分まで
2. 開催方法 WEB会議 (Zoom) 型式
3. 委員 委員長：太田智彦、副委員長：吉永高士、副委員長：中桐啓貴
4. 研修委員会出席者
だいとく投資ビレッジ山田氏、CSアセット水野氏、ファイナンシャルスタンダード石川氏、GAIA川杉氏、Fan平石氏、竹瀬氏、SBIマネープラザ浦
5. 事務局 入木雅和、澤岬あゆみ、古田栄美子
6. 前回(第3回)研修委員会(9月13日)以降の活動報告
 - (1) 主な活動状況
資料に基づき太田理事より説明
 - (2) 主な方針決定
資料に基づき太田理事より説明、当協会の金融教育へのスタンスについて、研修委員会における考え方を整理した。
7. 協議事項
 - (1) 第4回ゴールベースアプローチ実践編勉強会の準備状況について
 - ・(太田理事) 次回ゴールベースアプローチ実践編勉強会を吉永理事から「米国のゴールベースアプローチの実情について」お話を頂く、現在の申込状況についていかがか。
 - ・(入木事務局長) 現在の申込は10名程度、リマインドを数回行うので直前に申し込みが増える傾向にある。
 - ・(吉永理事) テーマは仮置きにしていたもので、実際の勉強会では、お客様の複雑なゴールや悩みを聞き出した後、内外の専門家と連携して如何にして対策を立てるかと言った内容になる。かならずしもゴールベースアプローチだけでないので、事務局からも再度リマインドしてもらった方がよい。
 - ・(太田理事) 当社では申し込みの状況を見ながらアドバイザーを指名して参加させて

いる。各理事社や参加者の皆様も社内で情宣して頂ければ有難い。

- ・(中桐理事長) 興味のあるテーマである。プロフェッショナルな方々と組んで高度な解決策を導き出すということですね。
- ・(吉永理事) 例えば、重い発達障害の子供を抱えた家庭に対してどの様にサポートするか金融的にはどのような解決策があるかなど、米国ではゴールベースアプローチによるさまざまなプランを持っていて顧客ニーズに対応している。フィーベースでアドバイスを行う場合は、きめ細かな解決策を持っていないと、投資だけをやっていてはロボアドバイザーとプライシング競争になってしまう。

(2) 次回以降のゴールベースアプローチ実践編勉強会の開催方針等について

- ・(太田理事) これまでの実績を踏まえて、来期に向けてどのようにゴールベースアプローチ実践編勉強会を発展させていくかご意見を頂きたい。「ご意見」として勉強会の場で聞き取りを行ったものを記載しているので参考にして頂ければと思う。
- ・(中桐理事長) ゴールベースアプローチの具体的な実務が聞けたので参考になった。一段進めるにはワークショップが良いのか、ビデオがあることも周知されていないのではないか。
- ・(入木事務局長) 勉強会終了後 1 週間程度でアーカイブ化できるので、完成したらリマインドを行いたい。また、アドバイザーに案内が届いていないのではないかとのご意見に対して、これから取り組もうとしている Twitter で周知する方法もあると考えている。
- ・(太田理事) 協会で配信先のメーリングリストを作成して、全員に送信するなど工夫は出来るのではないかと。当社はアドバイザーに直接送信してもらっても良いと思っている。
- ・(入木事務局長) 各社からの参加者が会社で把握しにくくなるリスクは有るがアドレスを収集してメーリングリストを作成することとする。
- ・(だいとく山田氏) 当社は地方なのでオンライン参加しているが、勉強会の開催時間が気になる。当社では、今後ゴールベースアプローチを取り入れたファンクラブを本格的に取り扱いたいと考えているので、社内では基本全員参加させている。アドバイザーが参加しやすいようにもう少し遅い時間にするなど工夫は必要ではないか。ビデオ配信の方法などもう一工夫があれば良い。
- ・(CS アセット水野氏) 研修計画やコストを掛けることが難しい状況下、協会がプログラムを提供してくれて助かっている。勉強会やセミナーの ID や PW を社内でも共有して活用して行きたい。
- ・(太田理事) 定例会等を名古屋で開催するのも良いのではないかと。大阪説明会を開催してみて直接対面で行うと気付きも多く良かったと感じている。

- ・(ファイナンシャルスタンダード石川氏) ゴールベースアプローチ勉強会について社内の IFA や知人に声がけしたが興味が無いとの対応が多かった。自分のやり方を画一しており新しい手法に興味が無いと言うことのようにであった。このように興味のない人たちとも座談会などを通じて意見交換会を行うのも良いのではないか。
- ・(吉永理事) アーカイブの案内や、チラシの案内を行う際に、過去の開催実績の URL を貼付して知らせるのも良いのではないか。今後の開催については、ゴールベース研修・実践編は当初さまざまなゴール設定シーンを書き出していただいたように、本来はテーマ設定の範囲がもっと広いものであったはずなので、外部の専門家との連携事案等具体的な事例が出てきた時に事例紹介として 2~3 か月の頻度でも良いので継続して行くのがよいのではないか。
- ・(太田理事) ゴールベースアプローチに係わらず勉強会のテーマを広めに構えて第 5 回以降も実践編勉強会として継続し、当協会としてコンテンツを積み上げていきたい。

(3) 第 3 回 FA カンファレンスの準備状況について

資料に基づき太田理事から説明

- ・(入木事務局長) FA カンファレンスのアーカイブについては、特別講演と基調講演は不可であるが、吉永理事の講演を含め後半部分については、パネルや座談会の登壇者には事前打合せ時に確認を取ってアーカイブ化する予定である。また、理事社にはカンファレンスの支援要員をお願いすることになるのでよろしくお願ひしたい。

(4) 第 4 回正会員等定例会後の勉強会及びセミナーの準備について

- ・(入木事務局長) 次回 2 月 17 日開催の定例会後のセミナー講師について、ご検討を頂きたい。
- ・(太田理事) 少し先ではあるが、理事からご推薦頂いている講師候補者以外でも適任がいらっしゃれば推薦していただきたい。年度内はゴールベースアプローチ実践編勉強会も行わない方針なので、定例会後の第 5 回セミナーが最後になるので推薦があればお申し出ください。

8. その他

- ・(吉永理事) 1 月~3 月の予定が入っていないのであれば、米国視察について検討してもよいのではないか。視察を年度明けに実施するとしてもディスカッションを始めてもよい。来年度 5 月開催(フロリダ) 予定の米国の証券業協に相当する SIFMA 主催の対面アドバイザー年次カンファレンスに出席してインプットを行い、その後 NY で私の知り合いの RIA 経営者に個別に面談するなどプランは色々考えられる。

カンファレンスは他にも同様のものがいろいろなタイミングである。費用は交通費及び宿泊費は各社持ちで、講師料や通訳費用などは協会に負担してもらうのはどうか。また、カンファレンスの参加料も1人2000ドル程度はかかることになろう。

- ・(太田理事) 海外視察のイメージを持っていないので行程表などあれば共有して頂きたい。必要に応じ事前打合せを設定し協議を進めることとしたい。

以 上